

No. 554
2017年
9月

OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F
電話 (03) 3851-6100 Fax (03) 3851-6055
<http://www.orsj.or.jp/>

● 日本OR学会各賞の候補ご推薦のお願い

本学会では、研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞、業績賞、実施賞、普及賞、論文賞、学生論文賞を設定し、それぞれの分野で顕著な成果・業績を挙げられた個人や企業を毎年表彰しております。つきましては、今年度も候補者の積極的なご推薦を募ります。

推薦締切日

1. 業績賞、普及賞、実施賞：2017年11月30日
2. 研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞：2018年1月31日
3. 学生論文賞：2018年3月31日

推薦状は、学会HP <http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html> からダウンロードしてご利用ください。過去の受賞者一覧は学会HPに掲載しています。

〔研究賞〕

昭和43年（1968年）に創設された大西記念文献賞、およびそれを継承した文献賞を受け継ぎ、2011年度から設けられた本学会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす個人に贈られます。

1. 本学会員であること。
2. 独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与する研究業績を挙げていること。

授賞対象とする研究業績は過去5年以内のものとし、毎年1名程度を表彰する予定です。（副賞金50万円／1名）

〔研究賞奨励賞〕

若手研究者個人を対象とする賞です。上の研究賞の条件に加えて被推薦者の年齢に関して次の条件があります。被推薦者は、原則として応募締め切り時に満35歳以下であること。ただし、OR研究歴が短い方は、この年齢制限を超えていても構いません。授賞対象とする研究業績は過去3年以内のものとし、毎年4名程度を表彰する予定です。（副賞金20万円／1名）

〔事例研究賞〕

ORの優れた事例研究に対して贈られます。毎年3件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔業績賞〕

ORの研究・教育・実施などにかかわる活動に顕著な業績を挙げた個人に対して贈られます。ただし被推薦者は、原則として応募締め切り時に満40歳以上、満65歳以下の学会員であることが必要です。毎年1名程度を表彰する予定です。（副賞金10万円／1名）
* 2017年度より業績賞被推薦者は「60歳以下」から「65歳以下」に変更されました。

〔普及賞〕

ORの普及への大きな貢献に対して贈られます。毎年2件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔実施賞〕

ORの強力な実施・推進に対して贈られます。毎年2件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔論文賞〕

2010年度より設けられた新しい賞です。過去1年間に本学会論文誌に掲載された論文のうち、特に優れたもの1編に贈られます。授賞論文の著者すべて（非会員が含まれる場合も全員）を表彰します。なお、論文賞の推薦は募りません。（副賞金30万円／1件）

〔学生論文賞〕

学生によるORに関する優れた研究に対して贈られるものです。対象は、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文とします。毎年5編程度を表彰する予定です。学生・指導教員がともに本学会員であることが必要です。詳しい募集要項は、OR誌2月号に掲載します。

（表彰委員会）

● 2017年秋季シンポジウム（第77回）

日 程：2017年9月13日（水）

場 所：関西大学千里山キャンパス（大阪府吹田市山手町）第4学舎4号館3階4301教室

シンポジウムHP：<http://www.orsj.or.jp/~nc2017f/index.php/symposium/>

テーマ：「機械学習が拓く新しいビジネスの世界」

実行委員長：大西匡光（大阪大学）

共催：関西大学環境都市工学部

プログラム：

- ・開会の挨拶（12：25～12：30）
大西匡光
- ・講演1（12：30～13：10）
鷺尾 隆氏（大阪大学産業科学研究所）
「機械学習の現状と先端IoTセンシングへの適用展望」
- ・講演2（13：10～13：50）
室住淳一氏（アビームコンサルティング(株)）
「IoTにおけるモデルマネジメントを導入した人工知能・機械学習の活用例」
- ・講演3（14：10～14：50）
里村卓也氏（慶應義塾大学商学部）
「マーケティングから見た機械学習」
- ・講演4（14：50～15：30）
矢田勝俊氏（関西大学商学部，データサイエンス研究センター）
「データマイニングのビジネス応用における諸問題」
- ・講演5（15：50～16：30）
岡田克彦氏，羽室行信氏（関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科・(株)Magne-Max Capital Management）
「機械学習が金融の世界をどう変えていくか。Asset Managementの現状と未来」
- ・講演6（16：30～17：10）
津本周作氏（島根大学医学部）
「医療技術へのマイニング・機械学習の応用」
- ・閉会の挨拶（17：10～17：15）
大西匡光

事前振込参加費：9/4（月）締切

正会員・賛助会員：3,000円

学生会員：1,000円

非会員：4,000円

*非会員の学生の事前振込みはありません。

*OR誌7月号綴じ込みの振替用紙をご利用ください。当日は、アイウエオ順の受付になります。参加費受領メールの送信はありませんので、振替用紙の半券を保管ください。

*欠席の場合、参加費の返金はできません。シンポジウム予稿集をお送りします。

正会員特典利用：9/4（月）締切

2017年度年会費納入済み個人正会員は、2017年秋

シンポジウムに無料で参加できます。研究発表会にも参加の場合は、上記の振替用紙の「正会員無料特典利用」を○で囲んでください。シンポジウムのみ参加の場合は、「正会員特典利用によるシンポジウム参加」を事務局宛にメールでお申込みください。

当日受付参加費：

正会員・賛助会員：4,000円

学生会員：2,000円

非会員学生：2,000円

非会員：5,000円

*学生の方は、受付で学生証の提示をお願いします。

協賛学会（正会員と参加費同額）：

日本経営工学会（JIMA）、日本品質管理学会（JSQC）、日本信頼性学会（REAJ）、研究・イノベーション学会（Jsripim）、日本設備管理学会（SOPE-J）、経営情報学会（JASMIN）、プロジェクトマネジメント学会（SPM）

参加費関連問合せ先：

OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 2017年秋季研究発表会

日程：2017年9月14日（木）～15日（金）

場所：関西大学千里山キャンパス（大阪府吹田市山手町）第4学舎2号館および同4号館

研究発表会HP：<http://www.orsj.or.jp/~nc2017/>

特別テーマ：「学の実化を目指して」

実行委員長：木村俊一（関西大学）

共催：関西大学環境都市工学部

特別講演：（一般公開につき参加費無料，事前申込み不要）

日時：9月14日（木）

場所：関西大学第4学舎4号館4301教室（S会場）

講師：前田 裕氏（関西大学副学長）

題目：「学の実化から世界へ」

受賞講演：

日時：9月15日（金）

場所：関西大学第4学舎4号館4301教室（S会場）

講演1

講師：研究賞受賞者 増山博之氏（京都大学）

題目：「マルコフ連鎖—安定性のトリニティをめぐる一」

講演2

講師：研究賞受賞者 後藤順哉氏（中央大学）

題目：「ノルムを用いた最適化モデリング」

事前振込参加費：9/4(月) 締切

正・賛助会員：6,000円
 学生会員：1,000円
 非会員：8,000円

- * 非会員の学生の事前振込みはありません。
- * OR誌7月号綴じ込みの振替用紙をご利用ください。当日は、アイウエオ順の受付になります。参加費受領メールの送信はありませんので、振替用紙の半券を保管ください。
- * 欠席の場合、参加費の返金はありません。アブストラクト集をお送りします。

登壇料：非会員（非会員学生を含む）の方が研究発表をする場合、参加費と別途、登壇料2,000円/件を頂戴いたします。（事前振込、当日お支払い同額です。）

当日受付参加費：

正会員・賛助会員：7,000円
 学生会員：2,000円
 非会員学生：2,000円
 非会員：10,000円
 * 学生の方は、受付で学生証の提示をお願いします。

懇親会：

会場：関西大学 凜風館2階食堂ディノア
 （※発表会場の隣の建物）
 日時：2017年9月14日(木) 発表会終了後
 懇親会費（事前振込み）：5,000円（9月4日(月) 締切）
 * OR誌7月号綴じ込みの振替用紙をご利用ください。
 懇親会費（当日受付）：6,000円
 * 当日受付には限りがありますので、なるべく事前振込みをお願いいたします。

賛助会員の方へ：

1口につき1名様の研究発表会に無料でご参加できます。
 賛助会員受付にて名刺をご提示ください。（事前の参加連絡は不要です。）ご参加者様については、社内で調整をお願いいたします。ご欠席の場合は研究発表会アブストラクト集をお送りします。

企業展示：(株)NTTデータ数理システム、(株)オクトーバースカイ

協賛学会（正会員と参加費同額）：

日本経営工学会 (JIMA), 日本品質管理学会 (JSQC), 日本信頼性学会 (REAJ), 研究・イノベーション学会 (Jsripim), 日本設備管理学会 (SOPE-J), 経営情報学会 (JASMIN), プロジェクトマネジメント学会 (SPM)

参加費関連問合せ先：

OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● **2017年春季シンポジウム（第78回）**

日 程：2018年3月14日(水)
 場 所：東海大学 高輪キャンパス
 実行委員長：朝日弓未（東海大学）

● **2018年春季研究発表会**

日 程：2018年3月15日(木)～16日(金)
 場 所：東海大学 高輪キャンパス
 実行委員長：松井泰子（東海大学）

● **2017年度中部支部シンポジウム**

「準モンテカルロ法の理論とOR」

支部URL：http://www.orsj.or.jp/chubu/
 日 時：2017年9月16日(土) 13:15～17:55
 場 所：ウインクあいち15階（愛知県立大学サテライトキャンパス）名古屋市中村区名駅4-4-38
<http://www.winc-aichi.jp/access/>

シンポジウム趣旨：

情報化社会が進んだ今日、蓄積された膨大な情報（ビッグデータ）を利活用することは必須となっている。そのような状況の中で、解析的に計算することが難しい高次元における数値積分法の必要性がますます高まっている。本シンポジウムでは、そのような高次元における積分法を実現する方法のひとつである「準モンテカルロ法」の理論とその応用をテーマとし、この分野の最前線で活躍されている研究者を招き、最新の研究成果や活用事例などを報告していただく。また、今後の研究交流の可能性を一同で模索する。

プログラム（テーマと講師）：

13:15～13:20
 開会挨拶 伏見正則
 13:20～14:20
 「準モンテカルロ法の使い方」
 諸星穂積（政策研究大学院大学）
 14:30～15:30
 「準モンテカルロ法の基礎から工学的応用の可能性まで」
 合田 隆（東京大学大学院工学研究科）
 15:40～16:40
 「フィナンシャル・エンジニアリングにおける準モンテカルロ法の効率化」

今井潤一（慶応義塾大学理工学部）

16:50～17:50

「64ビット高性能線形擬似乱数発生法の開発」

原瀬 晋（立命館大学理工学部）

17:50～17:55

閉会挨拶 奥田隆史，平尾将剛（愛知県立大学情報科学部）

参加費：1,000円（ただし，学生は無料）

懇親会：シンポジウム終了後，懇親会を計画しています（予定会費5,000円）。懇親会に参加される方は，会場予約の都合上，下記の事前申し込みを必ずご利用ください。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

申込方法：中部支部WEBからお申込みください（締切2017年9月1日（金））。シンポジウムは当日参加も可能ですが，準備の都合上，できるだけ事前申込みにご協力ください。なお，懇親会に参加される方は，席の確保のため，事前申込みを必ずお願いします。

主催：日本OR学会中部支部

協賛：電子情報通信学会東海支部など

詳細：<http://www.orsj.or.jp/chubu/?p=2727>

問合せ先：OR学会中部支部研究幹事 平尾将剛

E-mail: hirao@ist.aichi-pu.ac.jp

●九州支部「九州地区におけるOR若手研究交流会2017」

趣旨：

この度，OR学会九州支部では「九州地区におけるOR若手研究交流会2017」を開催することになりました。若手OR研究者の育成と交流を目的に，主に九州地区の若手研究者，大学院・学部学生を対象とした1泊2日の合宿形式の研究交流会を開催するものです。支部外からの参加も募り広く交流をはかりたいと考えております。若手研究者・学生に発表の機会を提供し，所属，分野を超えた研究交流を通じてOR諸分野への関心を高めるとともに，人的ネットワークの構築と研究活性化の促進を図ります。

本若手研究交流会では，

- ・若手研究者による研究発表（優秀な発表は表彰します）
 - ・講演会：吉良知文先生（群馬大学）
 - ・懇親会
- を行います。

「若手研究者」としては修士課程・博士課程および学部学生の方を想定しています。

本研究交流会は以下の要領で実施いたします。会場の収容人数の都合上，発表者・参加とも事前の登録をお願いいたします。

日時：2017年10月28日（土）午後～29日（日）正午
※発表者の人数により開始時刻を決定します。参加者には追ってご連絡します。

場所：FITセミナーハウス（福岡工業大学）

（〒879-5114 大分県由布市湯布院町川北894-78）

参加登録方法：

- ・発表者・参加者とも<https://sites.google.com/view/orwakate2017>の【参加申込】フォームからご登録ください。登録後，確認のメールをお送りします。
- ・発表を希望される方は【講演申込】のフォームからご登録ください。アブストラクトの提出は不要です。

参加登録締め切り：2017年9月30日（土）

懇親会：初日の夕食の後に開催予定です。

問合せ先：実行委員長 植野貴之（長崎県立大学）

E-mail: ueno@sun.ac.jp

●新宿OR研究会

〔第371回〕

日時：2017年9月19日（火）12:00～14:00

講師：織田利彦氏（（財）道路交通情報通信システムセンター研究主幹）

テーマ：「交通管制とOR」

場所：OR学会事務局会議室

（千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F）

<http://www.orsj.or.jp/members/inquiry2.html>

参加費：2,000円（昼食代を含みます。事前にメールにてお申込みください。）

問合せ先：日本OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

●他学協会協賛案内

* OR学会が，共催・協賛・後援する大会やシンポジウムの情報です。参加費など，詳しくは主催学会にお問い合わせください。

- ・Joint 10th International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and 19th International Symposium on Advanced Intelligent Systems (SCIS&ISIS2018)

日程：2018年12月5日（水）～8日（土）

場 所：富山国際会議場

主 催：日本知能情報ファジィ学会

協賛学会参加費：日本知能情報ファジィ学会会員価格
に準ずる

WEB：http://scis2018.j-soft.org/

● 研究助成案内

* 詳細は、各財団のWEBおよび、OR学会WEBの「助成案内」をご覧ください。

・鹿島学術振興財団2017年度研究助成

研究対象者：

- (1) 都市・居住環境の向上
- (2) 国土・資源の有効利用
- (3) 防災・危機管理の推進
- (4) 文化的遺産・自然環境の保全

以上の分野での研究者または研究グループ

助成金額と期間：

- (1) 1件あたりの助成金は、継続期間（2年目）の分も含めて合計300万円以内とする。
- (2) 助成期間は2年間まで。

用途：研究に必要な設備用品費、消耗品費、謝金、旅費、印刷製本費等

* 詳しくは、<http://www.kajima-f.or.jp/guide/task01.html> をご覧ください。

推薦者：OR学会会長

OR学会推薦締切：2017年10月10日(火)

申請書提出先及び問合せ先：

OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 新入会員（2017年7月理事会承認分）

一賛助会員A種一

(株)ビジネスブレイン太田昭和

一正会員一

権田 夏月 (株)構造計画研究所
 萩行 さとみ (株)明治安田生活福祉研究所
 小倉 孝裕 (株)日立製作所
 関口 海良 (株)インダストリアル・ディシジョンズ
 長島 隆廣
 中村 あすか 千葉工業大学

一学生会員一

キム ホイグォン 東京海洋大学
 木島 隼人 東邦大学
 木村 雅俊 大阪大学（関西支部）
 福永 峻 東京工業大学
 秋本 克哉 東北大学（東北支部）
 磯西 市路 京都大学（関西支部）
 高橋 俊史 東京工業大学
 川西 勇輔 筑波大学
 三田 佳那子 京都大学（関西支部）
 城下 了輔 東京工業大学
 桑山 妙子 東京工業大学
 糸井 雅貴 成蹊大学

* 支部表記のない方は本部所属です。

4部会合同研究会 ～確率モデルの新展開～

日時：2017年10月7日(土)

研究会：13:00～17:50まで

懇親会：18:30～(予定)

会場：県立広島大学サテライトキャンパスひろしま

広島市中区大手町1-5-3広島県民文化センター5階(研究会場：502大講義室)

<http://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/satellite/accessmap.html>

実行委員長：木村光宏(法政大学)

実行委員：塩田茂雄(千葉大学)，穴太克則，堀口正之(神奈川大学)，北條仁志(大阪府立大学)，田村信幸(法政大学)，佐久間大(防衛大学校)，来島愛子(上智大学)，吉良知文(群馬大学)，中西真悟(大阪工業大学)，土肥正(広島大学)，岡村寛之(広島大学)，齋藤靖洋(海上保安大学校)，広谷大助(県立広島大学)

主催：「確率モデルとその応用」研究部会，「システム信頼性」研究部会，
「待ち行列」研究部会，「不確実性環境下の意思決定モデリング」研究部会

共催：日本OR学会中国・四国支部

プログラム(敬称略)

13:00～ 開場・受付

13:15～13:20 開会挨拶

13:20～14:50

講演者1：谷口哲至(広島工業大学)

講演題目：野球における投手の分類

概要：講演者は自身の野球，ソフトボールの経験の下，投球時打たれた打球の質によって，その日の成績(失点の具合)がある程度分かると感じていた。この客観的な情報のみで投手の能力を測り，また今後の育成面における課題を洗い出せないかと思案したことが本研究の動機である。一方で，投手の能力を評価する基準として防御率というものがある。この指標は球場の大きさやチームの守備力の影響が加味されているので，客観的な指標というには乱暴であると感じられる。しかしながら，日米を問わずプロ野球界ではこの指標をもって投手の俸給に大きな影響を与えてきた。今回，客観的な指標のみでどれほど投手の能力を見ることができなのか？どのような投手が点を取られにくいのか？に焦点をあてて講演をする。この研究は平尾氏(愛知県立大)，小泉氏(横浜市大)らとの共同研究である。

講演者2：大西匡光(大阪大学)

講演題目：市場価格インパクトを考慮した最適執行問題

概要：自らによる資産の売買がそれらの市場価格へのインパクトを与える“大きな投資主体”にとっては，それら市場価格インパクトを考慮した売買の執行戦略を策定する必要がある。本講演では，報告者らが最近に提案した，過渡的インパクトと永久的インパクトを同時に組み入れた離散時間の資産価格変動モデルを構築した上で，確率動的計画法を用いて，その最適執行戦略を導出する。さらに，取引所外の取引をも考慮したモデルとそれに関連する売買契約の問題についても触れる。

14:50～15:00 休憩

15:00~16:30

講演者3: 廣瀬英雄 (広島工業大学)

講演題目: オンラインテストを用いた教育システムの構築とシステムの信頼性

概要: 毎授業での習熟度を確認し不足があれば追加授業によって学生を支援する教育システム (フォローアッププログラム) では、習熟度の確認にオンラインテストを用いている。授業時間中に行うためできるだけ短い時間 (例えば10分) で行うのが望ましいが、少ない問題数 (例えば5問) の場合には習熟度測定値の信頼度を損なう可能性がある。そこで、テスト時間と問題数とのトレードオフを探り、適切な問題設定数について考察する。また、オンラインテスト特有のシステムの信頼性についても述べる。

講演者4: 加藤憲一 (神奈川大学)

講演題目: 貸出データを用いた図書館の蔵書貸出モデルと分析

概要: 本発表では平塚市立図書館から提供された図書貸出データを用いて、図書の分類、出版年からの時間経過等による図書の貸出冊数の統計的な特徴について考察する。図書館の利用の程度をはかる指標として蔵書回転率や貸出率といった指標が用いられている。また貸出件数についてはこれら平均値的な指標だけでなく多くの研究がなされている。例えばある図書館において一定期間における図書の貸出件数の度数分布は負の二項分布に似たものとなるといった性質が知られている。本発表では得られたデータの分析を行い、これらの既存の研究で指摘されている貸出の経験則に対して確率モデルの観点から考察を加える。また図書館では所蔵スペースの制約があり、全ての図書を利用者が自由にアクセスできる開架方式で配置することは難しい。発表の後半では開架・書庫の配置方式や貸出冊数の制限などの利用者規約に関する課題に対して、待ち行列モデルの考え方をを用いて図書館における適切なサービスについていくつかの考察を行う。

16:30~16:40 休憩

16:40~17:40 招待講演

講演者: 木島正明 (首都大学東京)

講演題目: On the Market Price of Liquidity Risk and Illiquidity Index

概要: Institutional traders consider liquidity in addition to prices when they trade. Their large trades create price impacts, which incur the risks of slippage and unfavorable market conditions that adversely affect their profit. We propose a generic framework to model the market price of liquidity risk. By setting the framework's parameters appropriately, we obtain different closed-form solutions of price impact function and the market price of liquidity risk. One particular price impact function is concave with respect to the order flow. We also find a proportional relationship between illiquidity and volatility. These features of our model are qualitatively consistent with existing empirical evidence.

17:40~17:50 閉会挨拶

18:30~ 懇親会

その他

* ご希望の方は翌日の日曜日に酒蔵見学と西条酒祭りへご案内することを検討しております。

* 申込要領等はシステム信頼性研究部会のウェブサイト等で追ってお知らせします。

<http://sigrel.wordpress.com>

2017年度第3回 ORセミナー

『ExcelソルバーではじめるOR』

本セミナーは2016年度第2回と同じ内容を多く含んでいます。

開催趣旨:「限られた人や予算をうまく配分したい」「リスクを最小にするような投資配分を見つけない」あるいは「多角的な視点から店舗や社員の効率性評価を行いたい」。そのような問題はオペレーションズ・リサーチ(OR)の代表的なツールであり、ビジネスにおけるキーテクノロジーの1つである「最適化」によってアプローチすることが可能です。ソルバーはある種の最適化を実現するソフトウェアです。高度化が進むソルバーの中にあつて、Excelソルバーは最も身近なものであり、エントリーモデルとして相応しいものと言えます。本セミナーではオペレーションズ・リサーチ(OR)の古典的な問題を教材に、Excelソルバーでどんなことができるのかを学びます。なお、セミナーは講義形式と演習形式を織り交ぜて行い、参加者は予めExcel(2010以降)をインストールしたラップトップパソコンを持参することを前提とします。

日時:2017年10月7日(土) 10:00~17:10

会場:(株)構造計画研究所 本所新館(地下1階レクチャールーム)
〒164-0011 東京都中野区中央4-5-3 TEL: 03-5342-1065
東京メトロ丸の内線「新中野」駅 1番出口 徒歩約1分
<http://www.kke.co.jp/corporate/map/tokyo2.html>

コーディネーター:(株)構造計画研究所 齊藤 努

司会:中央大学 後藤順哉

定員:60名(定員になり次第締め切らせていただきます。)

プログラム:(敬称略)

10:00~10:05 開会挨拶

10:05~10:45 **セッション1 「数理最適化とソルバー」** 講師:中央大学 後藤順哉

数理最適化とは何なのか、それにおけるExcelソルバーの位置づけについて学びます。

10:45~12:15 **セッション2 「Excelソルバー入門」** 講師:文教大学 堀田敬介

割当問題などの簡単な数理最適化問題について、数理モデルをExcel上で表現し解く方法を身につけます。

13:00~14:30 **セッション3 「0-1整数計画」** 講師:文教大学 堀田敬介

集合分割問題等の数理最適化モデルをExcel上で表現する方法を学び、Excelソルバーで求解します。

14:40~15:20 **セッション4 「ポートフォリオ選択」** 講師:中央大学 後藤順哉

資産運用の基本である平均・分散モデルについて学び、Excelソルバーで効率的フロンティアを求めます。

15:20~16:05 **セッション5 「VBAを使って便利にする」** 講師:中央大学 後藤順哉

アプリケーション用プログラミング言語VBAと組み合わせてExcelソルバーを使う方法について学びます。

16:15~17:05 **セッション6 「データ包絡分析法(DEA)」** 講師:中央大学 後藤順哉

DEAの基本的な考え方について学び、Excelソルバーを用いて実現する方法について学びます。

17:05~17:10 閉会挨拶

17:10~ **「個別相談・質問コーナー」** 講師:中央大学 後藤順哉, 文教大学 堀田敬介

参加費(テキスト代込み):正・賛助会員(協賛学会員を含む)5,000円, 学生会員1,000円, 学生非会員1,500円, 非会員 20,000円。

ORセミナー参加者特典:正会員でない賛助会員および非会員/学生非会員は、入会金無料で入会でき(それぞれ正会員/学生会員となる)、2017年度と2018年度の年会費は免除されます。

申込方法:メールタイトル「第3回ORセミナー参加申込」として、お名前、ご所属先、正会員/学生会員/賛助会員/協賛学会員/非会員、お支払予定日を記入してください。ご所属先宛の請求書が必要な場合、その旨お書きください。メール送信先:日本OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

申込およびお振込み締切:2017年9月29日(金)

振込先:みずほ銀行:根津支店(店番号235) 普通1530801

口座名:公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

協賛学会(正会員と参加費同額):日本経営工学会(JIMA), 日本品質管理学会(JSQC), 日本信頼性学会(REAJ), 研究・イノベーション学会(Jsrpim), 日本設備管理学会(SOPE-J), 経営情報学会(JASMIN), プロジェクトマネジメント学会(SPM)

*詳しくは、OR学会WEB <http://www.orsj.or.jp/activity/seminar.html>をご参照ください。

第29回RAMPシンポジウム

RAMPシンポジウムは、日本オペレーションズ・リサーチ学会の数理計画研究部会（RAMP: Research Association of Mathematical Programming）によって年一度開催される、最適化・数理計画に関するシンポジウムです。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

日程：2017年10月12日(木)、13日(金)

会場：筑波大学春日講堂

RAMP主査：土谷 隆（政策研究大学院大学）

実行委員長：吉瀬章子（筑波大学）

プログラム委員長：佐野良夫（筑波大学）

共催：筑波大学人工知能科学センター <https://air.tsukuba.ac.jp/>

参加申込：8月21日(月)より受付開始。RAMP2017HPから<http://infoshako.sk.tsukuba.ac.jp/~ramp/index.html>

シンポジウム参加費：

事前振込（9月30日(土)まで）：正・賛助会員¥5,000、学生¥2,000、非会員¥8,000

当日払い：正・賛助会員¥7,000、学生¥3,000、非会員¥10,000

懇親会参加費（事前振込・当日払いとも）：一般¥5,000、学生¥2,000

【プログラム】 *セッション名・講演題目・講演順序は現在調整中です。

10月12日(木)

受付 9:20～、開会の挨拶 9:50～10:00

1. **「機械学習と最適化」** 10:00～13:00 オーガナイザー：後藤順哉（中央大学）

竹内一郎（名古屋工業大学）、高野祐一（専修大学）、鈴木大慈（東京大学）

〈昼食 13:00～14:15〉

2. **「特別講演1」** 14:15～15:15 オーガナイザー：土谷 隆（政策研究大学院大学）

Guanghui (George) Lan (Georgia Institute of Technology)

3. **「タイムテープリングと最適化」** 15:30～18:30 オーガナイザー：池上敦子（成蹊大学）

野々部宏司（法政大学）、繁野麻衣子（筑波大学）、番原睦則（神戸大学）、菅原孝幸（菅原システムズ）

〈懇親会 19:00～（予定）〉

10月13日(金)

受付 9:00～

4. **「連続最適化アルゴリズムの新展開」** 9:30～12:30 オーガナイザー：福田光浩（東京工業大学）

福田エレン秀美（京都大学）、飯塚秀明（明治大学）、村松正和（電気通信大学）

〈昼食 12:30～13:30〉

5. **「特別講演2」** 13:30～14:30 オーガナイザー：土谷 隆（政策研究大学院大学）

Coralia Cartis (University of Oxford)

6. **「離散アルゴリズムとその周辺」** 14:45～17:45 オーガナイザー：小林佑輔（筑波大学）

前原貴憲（理化学研究所）、相馬 輔（東京大学）、山内由紀子（九州大学）

閉会の挨拶 17:45～

RAMP2017HP：<http://infoshako.sk.tsukuba.ac.jp/~ramp/index.html>

数理計画（RAMP）研究部会HP：<http://www.orsj.or.jp/ramp/index.html>

